



第28回琵琶湖博物館企画展示「守りたい！少なくなった生き物たち —未来につなぐ地域の宝物—」開催のお知らせ

琵琶湖博物館では、10月17日（土）から第28回企画展示「守りたい！少なくなった生き物たち—未来につなぐ地域の宝物—」を、以下の要領で開催します。

私たちの身の回りには、数が少なくなり絶滅が心配されるような生き物がいくつも知られ、それらを地域の宝物として守り、未来へつないでいくための取り組みも、多様な主体が行っています。今回の企画展示では、貴重な標本やパネルを使って、生き物たちの危機的な現状と、少なくなった生き物たちを守るさまざまな活動を紹介します。

今回の見どころとしては、世界的にみて絶滅危惧種の象徴的存在であるジャイアントパンダの剥製標本が、滋賀県に初お目見えします。このジャイアントパンダの剥製は、1972年に日本にやってきた最初のペア「カンカン」と「ランラン」で、開幕直前の10月15日（木）に搬入され、展示室の中央に置かれます。また、琵琶湖博物館とつながりのある動物園施設が保護活動に関わっているニシゴリラ、ユキヒョウ、アムールトラの剥製標本や、琵琶湖周辺で近年確認されなくなったアユモドキの最後に採集された個体の標本も展示されます。

記

開催期間 2020年（令和2年）10月17日（土）～2021年（令和3年）3月7日（日）

開館時間 10:00～16:30（最終入館16:00まで）

開催場所 滋賀県立琵琶湖博物館 企画展示室

観覧料金 大人 300円（団体料金：240円）

高・大学生 240円（同：190円）

小・中学生 150円（同：120円）

※団体料金は20名以上からとなります。

※企画展示をご覧になるには、別途、常設展示の観覧券が必要です。

※ 開催初日（17日）の10時15分から、アトリウムの企画展示室前でオープニングセレモニーを開催します。（約15分間）

10月10日（土）のリニューアル・オープン以後、琵琶湖博物館の入館には、ウェブサイト画面からの事前予約が必要となりました。右のQRコードからも事前予約の入力画面が表示されます（データ提供可能）。ご協力をお願いします。





開催準備が進む企画展示室に設置された入口ゲート



滋賀県に初お目見えするジャイアントパンダの「カンカン」(左)と「ランラン」(右)の剥製(多摩動物公園提供)